

会議記録（要旨）

会議名	平成 29 年度 第 3 回杉並区子ども読書活動推進懇談会
日 時	平成 29 年 12 月 5 日（火） 午後 6 時～ 8 時
場 所	中央図書館 視聴覚ホール
出席者	委員 岩崎委員、津田委員、滝田委員、楠本委員、石川委員、沼田委員、渋谷委員
	事務局 中央図書館長、中央図書館次長、事業係（石栗係長、伊藤）、資料相談係（佐川係長）、企画運営係（杉本係長、鈴木、松澤）、済美教育センター（奈良係長）
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第 ・ 平成 29 年度第 1、第 2 四半期の進捗管理表 ・ 子ども読書活動推進計画の策定について ・ 意見の概要と教育委員会の考え方 <p>その他 委員持ち寄り資料</p>
<p>1 中央図書館長あいさつ</p> <p>2 平成 29 年度「子ども読書活動推進計画」第 1、第 2 四半期進捗状況報告 〈事務局から要旨の報告〉 〈質疑応答〉</p> <p>委員 進捗状況管理票の中に、学校図書館が他区の公共図書館や区役所本庁（環境課）から資料を借りた事例の記述があるが、具体的にはどのような資料を借りたのか？</p> <p>事務局 台東区立図書館からは伝統芸能に関する DVD を 10 数枚借用し、また環境課からは杉並区の動植物に関する行政資料をクラスの人数分寄贈してもらった。</p> <p>委員 上記のような借用や寄贈ができたのは、学校司書が区立図書館に相談した結果だと思うが、区立図書館に相談すればそうした借用も可能だということを、もっと広く小中学校に知ってもらえればよいと思う。</p> <p>事務局 こうした取り組みが可能なのは、やはり全小中学校に学校司書が配置されていることが大きいと考えられる。</p> <p>委員 教員としても、学校司書が動いてくれるのは本当に助かる。</p> <p>委員 担当が資料をそろえるのは難しいので、司書との連携ができるといいと思う。</p> <p>委員 中学校は教科担任制なので難しい部分はあるが、徐々に教員と司書との連携は進んでいる。</p> <p>3 杉並区子ども読書活動推進計画のパブリックコメントについて 〈事務局からパブリックコメントの実施状況説明〉 〈事務局から提出された意見に対する教育委員会の考え方について説明〉</p>	

〈質疑応答〉

- 委員** パブコメに出された意見が少ない。他のテーマではもっと多くの意見が集まるし、杉並区の子育て世代は増加しているのに、2件というのは少なく感じる。今後、より多くの意見を集めるための方策についてうかがいたい。
- 事務局** 子育て中の保護者等により周知を図るなど、今後の課題があると考えている。
- 委員** 好意的に解釈すれば、杉並区の図書館への満足度が高いために、意見が少ないとも考えられる。いずれにせよ、より多くの意見が集まるよう工夫してほしい。
- 委員** 意見にあまり具体性が見られず分かりにくい。多目的室の活用に触れた意見があるが、多目的室はどここの図書館にもあるものなのか？
- 事務局** 講演会等を行う多目的室というものは、各図書館ごとにある。常時使用しているわけではないので、夏休み等を中心に学習室として開放する等の取組を行っている。
- 委員** 図書館を「情報発信の基地に」、という意見が出ているが、具体的な内容が分からない。あるいは意見を事務局が要約したことにより、こうした表現になっているのか？
- 事務局** ほぼ原文通りで要約はしていない。意見の主は学校図書館関係者と思われ、文部科学省の学校図書館に関する指針の内容を念頭に置いていると推察される。公共図書館においても、従来の文化・教養型から情報センター的な図書館への変化が趨勢であり、杉並区としてもその方向を目指している。
- 委員** 図書館の蔵書ばかりに頼らず、子どもたちが自然に触れて考えるような環境も重要である。
- 委員** パブコメも重要だが、普段図書館を利用しない人の声も含め、図書館に対する区民の生の声、具体的な本音を集めることも大切だと思う。
- 事務局** 毎年6月に区内の各図書館で「利用者満足度調査」を行ない、数千人規模の声は集めている。ただ、図書館を利用しない方の声はあまり拾えてはいない。
- 委員** 各図書館、学校で行われてる読書活動は大変なものだと思う。自分の知っている範囲の事しかパブコメ等に意見としては出せないのが、現場の声と保護者の要求などを大事にすべき。
- 委員** 膨大な内容の計画にコメントするには、総合的な知識や深い見識が必要であり、それは容易なことではない。もう少し意見が集まりやすい仕組みを考えていくのが、今後の課題である。
- 委員** 区政モニター等には主張の声が大きい人が多く、また教育論は誰でも一家言を持っている。難しいことではあるが、上手なファシリテーションによる議論ができるようになることが望ましい。
- 事務局** 図書館でも公募委員を含めた会議を開き、いろいろとご意見をいただいている。そうした声をどう具体的に反映させていくのが今後の研究課題である。
- 委員** 重点項目や新規項目など、全体として計画はよくできていると思う。
- 委員** 「未読者」という言葉は、「図書館で本を読まない子ども」と言い換えた方がよいのではないか。それに、図書館を利用しなくても本を読んでいる子供は必ずいるはず。
- 事務局** 「未読者」は「1か月に1冊も本を読まなかった子ども」を指しており、図書館利用の有無とは無関係の概念である。

- 事務局** 未読者の数値は、あくまで子どもたちの自己申告によるので、数字の精度に問題がないとは言えないが、教育委員会が実施したアンケート結果をもとに算出されている。
- 委員** 未読者の調査とは別に、杉並区が「子どもの図書館の利用率状況」を独自に調査してもよいのでは、と感じる。また、この計画自体は基本的に良いものだという共通認識があると思うが、今後の具体的な取り組みについて意見を聞きたい。
- 委員** よく読まれる本、また逆に全然読まれない本の展示をしてみてもどうか。
- 委員** 読まれない本の展示もかつて実施してみたことがある。試みとしては面白いが、あまり効果的ではなかった。
- 委員** 読書も大事だが、子どもたちには自然などの体験がとても重要。そういうことも大切にしたい。
- 委員** 図書館もフィールドワークもどちらも大事である
- 事務局** 先日、調べる学習コンクールの表彰式があったが、フィールドワーク抜きには調べ学習はあり得ないと痛感した。
- 委員** 大学で社会教育施設のレポートを課したところ、「図書館は無料で使える素晴らしい施設」という内容のものがあり衝撃的だった。やはりそれは常識として自然に理解できるよう、子どもたちから図書館を利用してほしい。

4 その他

〈平成 30 年度以降の「子ども読書活動推進懇談会」について〉

- 事務局** 現行委員の任期が 30 年 3 月で満了となる。区民代表は新たに公募を実施、その他の委員の方とは個別に相談するので、よろしくをお願いします。

〈各委員が持ち寄った資料をもとに意見交換〉

- ・ 出版業界のニュースと余暇競争の激化のレポート
- ・ 杉並区教育課程研究指定校・研究発表会のご案内
- ・ 各種新聞記事
- ・ 都内自治体の人口と蔵書数の比較調査
- ・ ボストン市周辺の図書館訪問レポート

〈次回開催予定〉

平成 30 年 1 月 30 日 (火) 予定